

春彼岸を控えたお寺の入り口に「どうも、今日はこれまでの人生の最後の日、どうも、今日はこれからの人生の最初の日」という言葉が貼ってありました。一期一会の教を説くこの言葉は、3年生がこれからの1か月で多く経験することでもあります。「高校生活最後の〇〇」や「生まれて初めての△△」を経験する大きな変化の時です。そのような時こそ目先のことにとらわれない視野と先見性が求められます。

3年生は国公立大学前期日程試験を終え、すぐに中期・後期日程試験に向けて気持ちを切り替えて頑張っています。前期試験の結果を心配するよりも、次の目標を定め、それに向けて万全の準備をしていく姿勢を持つ人にこそ、よい結果がもたらさせるのです。来年度西高を背負っていく1・2年生は、最後まで頑張る3年生の姿を目に焼き付け、そして自分の将来についても真剣に考えるきっかけとしてほしいと思います。

さて、1・2年生が自分の進路と向き合うこの時期にキャリア意識の向上を図るため、3月上旬の1週間を「キャリアウィーク」と設定して、下記の行事を実施します。本校は、社会の変化にも柔軟に対応し、たくましく生きていく人材を育成するための「キャリア教育」に早くから取り組んできましたが、このキャリアウィークはその一つです。これらの行事が、自分の進んでいく道を決定する一助となればと考えています。

つきましては、御家庭におかれましても、これらの行事の内容や感想についてお子様に質問をしたり、仕事や学問のことを話題にさせていただけますと、お子さまの意識も高まるものと思います。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## キャリアウィーク



1 期 間 平成25年3月2日(土)から9日(土)

2 対 象 1・2年生 生徒

3 関連行事および内容等

(1) 卒業生懇談会 3月2日(土)

講師 下記の大学・学部・学科に在籍している本校卒業生15名

東京大学 (工学部1名、農学部1名)

京都大学 (文学部1名、理学部1名、農学部1名)

名古屋大学 (文学部1名、教育学部1名、法学部2名、情報文化学部1名、  
理学部1名、工学部1名、農学部1名、医学部保健学科2名)

内容 質疑応答などを通じて助言を得て、大学における学問の内容を理解する。

1年生は文型、理型に分かれてパネルディスカッション形式で進める。

2年生は学部ごとに分かれて実施し、希望者にはさらに個別懇談も実施する。

(2) 社会人講演会 3月5日(火)

講師 松山 剛久氏 (弁護士 平成8年本校卒業)

演題 「弁護士から見た仕事の厳しさとやりがい」

### 【講師プロフィール】

豊田西高等学校卒業後、南山大学法学部へ進学。同大学卒業後、名城大学法科大学院に入学。司法試験を目指す傍ら、判例データベースのウェストロージャパン、行政書士業務などの仕事をしてきた。現在、安城市の大見法律事務所に所属し、裁判員裁判などの刑事事件、企業法務、離婚、相続、交通事故、雇用問題、消費者被害などの民事事件を幅広く手掛けている。平成25年4月に豊田市にて開業予定。

(所属等) 愛知県弁護士会西三河支部、広報委員会、子どもの権利委員会、  
司法修習委員会所属、名城大学法科大学院教育支援員

(3) キャリア企画 3月7日(木)、3月9日(土)

1学期に1年生の保護者の方々に御協力いただいた「職業観アンケート」から数点を抜粋して配付し、職業のやりがいや喜びとともに苦労を知る機会とする。また、それをもとによりよく生きる人生設計について考える。

## 《 1年生 》



### <模擬試験・スタディーサポートの有効活用：復習が一番大切>

#### ◎模擬試験について

3月上旬に結果が渡されます。点数や偏差値、順位などに目がいってしまうのは仕方のないことですが、一番大切なのは、間違えたところの復習です。試験直後に一度は復習を終えているとは思いますが、時間が経った今、定着度を確認するためにも、ぜひ再度問題を解いてみてください。そして、成績表に示されている自分の弱点分野を分析し、その補強を図りましょう。

#### ◎スタディーサポートについて

先日受験したスタディーサポートは、基礎的な学力が身に付いているか、学習習慣が確立しているか、学習態度に問題はないかを確認するためのものです。学習面については、解けなかった問題・分野は確実に補強しましょう。また、学習習慣・学習態度についても、結果を真摯に受け止め、改善すべき点は改善しててください。また、復習用教材の「スタディーチャージ」を先日配付しました。春休みの課題の一部としている教科もあります。問題の難易度レベルマークを参考に、学習を進めてください。

どちらの試験も、自分の「弱点」をあぶり出し、その補強を図ることを目的に受験してもらいました。学習・学習習慣の両面において、1年生のうちに身につけておくべきことは確実に身につけ、2年生へ進級する準備を確かなものにしてください。

## 《 2年生 》



3年0学期も残すところあとわずかとなりました。この時期に、自分自身の中で何かを変えようと考え、実行できたでしょうか。まだ不十分だと感じる人は、4月からではなく、今からすぐに行動を起こしてほしいものです。

さて、3月2日(土)の土曜セミナーの2時間目に、卒業生懇談会が開催されます。豊西を卒業した先輩の話からヒントをもらい、明確な目標をもちましょう。3時間目には大学別の入試問題研究会があります。それぞれの会に積極的な姿勢で臨み、大学受験を強く意識してほしいと思います。

また、春休みには各教科から課題が出されます。春休み課題は2年生までに復習しておきたい内容を取り扱っています。復習をして、知識を定着させましょう。特に苦手教科がある人は、3年生になる前に十分復習をして、克服しておきましょう。苦手教科があると最後まで足を引っ張られることとなります。

モチベーションを保つには、次の条件が必要となります。

1. 明確な目標があること。
2. 行動に対する報酬（見返り）があること。
3. 行動に対する成果や成長が目に見えること。
4. その行動そのものに興味をもて、好きであること

つまりすべてはやる気の問題です。今から自分自身をすぐに変え、進路実現に向けて突き進みましょう。

## 《 3年生 》



### <西高生の底力でもうひとふんばり>

今年度のセンター試験は難化した教科が多かったため、昨年に比べると全国の総合平均点は大幅に下がりました。しかし、本校の総合平均点は下がり幅が小さく、よく健闘したと思います。

センター試験後は、国公立大学二次試験に向けて特別講義、添削指導、面接・小論文対策が行われました。一人ひとりの学力と入試内容に応じたきめ細かな指導が、記述力を高めるのに大いに役立ったと思います。2月19日以降の自主登校期間中も多くの生徒が登校し、最後まで仲間とともに努力することの価値を実感したことと思います。2月25日の前期試験の翌日から、中期・後期試験に向けて気持ちを切り替えて、みんなで頑張っています。

3月1日には卒業式が行われます。しかし、西高の先生方は今年度の入試がすべて終わるまで、決して気持ちを緩めず、学習面だけでなく精神面のサポートもしていきます。まだ、中期・後期試験がある人はせっかくここまで努力を継続したのですから、出願した大学は最後まできちんと受験し、高校生活の締めくくりとしてください。そして、結果が出たらすぐに先生方に報告し、喜びを伝えてください。担任の先生をはじめ、教科担当や部活動の顧問など多くの先生方が、皆さんからの報告を待っています。